

三陸沿岸道路 宮古中央インター線が開通

～三陸沿岸道路と宮古市街地へのアクセス性が向上～

～花輪橋に集中していた交通が転換し渋滞が緩和～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路等の整備を進めています。

このたび、宮古市とともに事業を進めてまいりました宮古中央インター線（約0.6km）と、岩手県が事業を進めてまいりました国道106号千徳交差点改良が平成25年3月23日に開通しました。

開通直後の交通状況を取りまとめたので結果をお知らせします。

■交通量の変化について

- ・花輪橋に集中していた交通が千徳大橋に転換

区 間	交 通 量（12時間）		摘 要
	開通前 H25.3.13	開通後 H25.3.27	
千徳大橋 （宮古中央インター線）	—	7,200台/12時間	
花輪橋 （（県）花輪千徳線）	9,600台/12時間	6,500台/12時間	約3割減少

- ・花輪橋の渋滞が緩和

区 間	渋滞長・通過時間		摘 要
	開通前 H25.3.13	開通後 H25.3.27	
花輪橋 （（県）花輪千徳線）	渋滞長 200m 通過時間 5.3分	渋滞長 30m 通過時間 2.2分	170m減少 3.2分減少

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会》

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 TEL 0193-62-1711（代表）
副 所 長 戸 嶋 守（内線 204）
調査第一課長 成 田 信太郎（内線 451）